

思考力や想像力を働かせて読む

ねらい

- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読む力
- ・表現の工夫とその効果を踏まえ、心情を読み取る力

を付ける！

単元・授業の流れ

指導のポイント（留意点）

ア 見通しをもつ（意識化）

- 1 課題に対して自分の見通しをもつ。
- 2 学習課題を設定し、学習計画を立てる。

表現の工夫とその効果を踏まえ、思考力や想像力を働かせながら、登場人物の心情を読み取る力を身に付ける単元であることを意識させる。

《手立て》

- ・ワークシートや生徒用手続きを活用する。
- ・学習計画・自己評価表で学習の見通しを示す。

身に付ける

イ 習得 ←→ ウ 活用

言語活動を通じた指導

（思考力や想像力を働かせて仮想対談を行い、心情を読む）

- 3 本文を通読する。
- 4 文章の構成と主な登場人物の人物像をとらえる。
- 5 ~ の場面の人物の心情を読み取る。
- 6 表現の特徴や工夫について自分の考えをもつ。
- 7 読み取った心情や本文の描写を基に、描かれていない登場人物の心情を想像する。
- 8 本文にはない未来の場面を想定して、仮想対談のシナリオを作成する。

読み取った表現の工夫や心情を基に、登場人物に成り代わって仮想対談を行い、心情の理解を深める。  
（習得 ↔ 活用）

- ・「少年の日の思い出」を大きく4つの場面に分け、主な登場人物の人物像をとらえる。
- ・ ~ の場面の登場人物の心情を、描写を根拠に考えさせる。
- ・本文に描かれていない登場人物の心情などについては、表現の工夫や読み取った心情を基に、想像させる。
- ・現在 過去の場面で構成されている本文に、未来の場面を想定し、仮想対談をさせる。

《手立て》

- ・内容や表現の特徴を読み取る際に、スモールステップによる学習活動を行う。
- ・ワークシート、学習の手引き、学習プリント等、学習活動を補助する資料を活用する。

エ 振り返る（定着）

- 9 登場人物になりきって、仮想対談を行う。
- 10 学習のまとめをする。

仮想対談をさせることで、描写を根拠に登場人物の心情を理解できているか確認する。

《手立て》

- ・ワークシートを活用し、グループで意見を交流させた後、全体で意見をまとめる。
- ・学習計画・自己評価表で単元の学習を振り返る活動を行う。